

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 福山市

1 事業の趣旨・目的

外国人市民が、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域の一員として生活できるよう、生活に直結した日本社会の制度や慣習を学びながら必要な日本語能力の習得を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
7月25日 13:30 ～14:30	村田民雄, 有廣清子, 藤原ミラ, 榎田洋子, 村上真樹	・文化庁事業の概要説明等 ・実施計画案の説明 ・実施計画の決定 ・募集方法	実施計画の経過説明及び実施計画の決定を行い、具体的な進め方についての方針を定めた。
11月22日 14:00 ～15:00	村田民雄, 有廣清子, 榎田洋子, 村上真樹	・現在までの状況説明と今後の具体的な講義の進め方 ・最終日の修了式	現在までの状況についての説明、意見交換を行い、最終日に向けた具体的な講義の進め方や事業評価の具体的な内容について協議した。
2月20日 14:00 ～15:30	村田民雄, 有廣清子, 榎田洋子, 村上真樹	・実績報告 ・アンケート調査報告 ・今後、日本語教室を開催する上での留意点	実績報告とアンケート調査結果の報告により、各委員が講評を行い、行政主催の日本語教室のあり方について協議した。

【運営委員会写真】



第1回運営委員会 7月25日



第2回運営委員会 11月22日



第3回運営委員会 2月20日

3 日本語教室の開催について

(1) 講座名

「日本社会の制度(しくみ)を学ぶ日本語教室」

(2) 開催場所

まなびの館 ローズコム

(3) 学習目標

外国人市民が、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域の一員として文化的なとまどいなく生活できるよう、生活に直結した日本社会の制度・慣習・しきたりなどを学ぶことを通して日本語能力の習得を図る。

(4) 使用した教材・リソース

「ストーリーで覚える漢字300」「日本語総まとめN2漢字」「同N3」「にほんごチャレンジN4かんじ」「生活漢字」「日本文化を英語で説明する辞典」「日本の年中行事を英語で紹介する辞典」「英語で楽しむ日本昔ばなし」「中学英語で日本のことわざが紹介できる」「中学英語で日本のしきたりが紹介できる」「年中行事のお話 55」「図解日本のしきたりがよくわかる本」「面白いほどよくわかる神事・仏事のしきたり」「くらしの日本語指差し会話帳フィリピン語」「同ポルトガル語」「くらしの日本語指差し会話帳 中国語版」「福山ならではの日本語テキスト」「みんなの日本語初級I」(スリーエーネットワーク)、講師独自教材等使用

(5) 受講者の募集方法

市広報、地域FM放送(4カ国語)による広報のほか、市内の公共施設に5カ国語の案内と日本語のチラシを配布した。また、人のつながりを利用して、国際交流協会会員のほか、外国人支援グループ、外国人同士のコミュニティを通じて周知を図った。(チラシは別添のとおり)

(6) 受講者の総数 29人

(出身・国籍別内訳: 中国 16人, インドネシア 5人, ブラジル 4人, フィリピン 2人, ベトナム 1人, 台湾 1人)

(7)開催時間数(回数) 60時間 (全 22回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	9月3日 13:00～16:00	3時間	人	台風により中止	教授者 人	台風により中止
②	9月10日 13:00～16:00	3時間	26人	ブラジル・ポルトガル語（3人）：インドネシア・インドネシア語（4人）：中国・中国語（15人）：フィリピン・タガログ語（2人）：ベトナム・ベトナム語（1人）：台湾・中国語（1人）	教授者1人 補助者1人	開校式，オリエンテーション，レベルチェックテスト，インタビューテスト，年中行事9月～11月
③	9月17日 13:00～16:00	3時間	12人	ブラジル・ポルトガル語（1人）：インドネシア・インドネシア語（3人）：中国・中国語（7人）：台湾・中国語（1人）	教授者1人	手紙，お知らせを読む，応募ハガキを書く
④	9月24日 13:00～16:00	3時間	16人	ブラジル・ポルトガル語（1人）：インドネシア・インドネシア語（3人）：中国・中国語（9人）：フィリピン・タガログ語（1人）：ベトナム・ベトナム語（1人）：台湾・中国語（1人）	教授者1人	きっかけづくりの会話，あいさつ，天気，時のことば，さそいの表現，漢字学習
⑤	10月8日 13:00～16:00	3時間	16人	ブラジル・ポルトガル語（3人）：インドネシア・インドネシア語（3人）：中国・中国語（9人）：フィリピン・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者1人	訪問の約束，あいさつ，マナー

⑥	10月15日 13:00～16:00	3時間	11人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(6人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	年中行事12月～2月
⑦	10月22日 13:00～16:00	3時間	12人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(2人):中国・中国語(6人):フィリピン・タガログ語(1人):台湾・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	年賀状, 近況報告, 住所変更, 漢字学習
⑧	10月29日 13:00～16:00	3時間	14人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(8人):台湾・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	敬語①尊敬語, 謙讓語, 美化語, 漢字学習
⑨	10月30日 11:00～13:00	2時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(1人):中国・中国語(2人):ベトナム・ベトナム語(1人):台湾・中国語(1人)	教授者1人	ベトナムまつりに参加(課外授業)
⑩	11月5日 13:00～16:00	3時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(6人)	教授者1人 補助者1人	救急車, くすりの種類・飲み方, 漢字学習
⑪	11月12日 13:00～16:00	3時間	12人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(4人):中国・中国語(6人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	市民税・健康保険のしくみ, 病院に行く, 漢字学習

⑫	11月19日 13:00～16:00	3時間	6人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(1人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	ごみリサイクル, ふろしき文化, 薬の説明書, 漢字学習
⑬	12月3日 13:00～16:00	3時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(4人)	教授者1人 補助者1人	保育サービス, 文法「て形」
⑭	12月10日 13:00～16:00	3時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(3人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	子育て支援, 虐待, 相談, 緊急連絡
⑮	12月17日 13:00～16:00	3時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(5人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	敬語②謙譲語, 漢字学習
⑯	12月18日	1時間	3人	インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(1人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人	人権平和フェスタに参加して交流(課外授業)
⑰	12月24日 13:00～16:00	3時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(1人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	謙譲語, 年中行事3月～5月

⑮	1月7日 13:00~16:00	3時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(1人):インドネシア・インドネシア語(3人):中国・中国語(4人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	復習, 正月行事, 年賀状
⑯	1月14日 13:00~16:00	3時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(3人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	年中行事6月~ 8月, オノマト ペ, 漢字学習
⑰	1月21日 13:00~16:00	3時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(3人):インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(4人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	方言(備後弁)の 特徴, 意味, 使 い方, 漢字学習
21	2月4日 13:00~16:00	3時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(1人):中国・中国語(3人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	葬式のマナー, 地域行事, 濁音 ことば, 修了テ スト
22	2月11日 13:00~16:00	3時間	10人	ブラジル・ポルトガル語(2人):インドネシア・インドネシア語(2人):中国・中国語(5人):フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者1人	修了テスト講 評, 安全学習, アンケート, 閉 講式

(9) 特徴的な授業風景

- 日本の年中行事や習慣・しきたり等を学ぶことを通して日本語の学習をした。
初回にレベルチェックテストを行い、教材は講師の作成プリントを使用した。



【初回のレベルチェックテスト】



【講師作成教材での通常授業風景】

- 11月12日～12月10日(4講座) まちづくり出前講座から日本社会の制度を学ぶ
福山市まちづくり出前講座(市民団体の集会に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を活かした講座を行うことで、市政に関する理解を深め、行政と市民による協働のまちづくりを推進する)を利用して、日本の制度【「市民税・国民健康保険」、「ごみ・環境」、「保育」、「子育て」】について行政のしくみを学んだ。身近なテーマのため、学習者の母国との差異に興味を示し、多くの質問も出た。



【12月3日 まちづくり出前講座(保育について)】

4 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

「日本社会の制度(しくみ)を学ぶ日本語教室」

外国人市民が地域住民とともに生活するために必要な日本の文化面での理解を通して、地域住民と自然にコミュニケーションがとれるよう、日常生活のなかの日本語能力の習得をめざし学習した。

開講時にレベルチェックテストを行い、学習者の日本語レベルを把握した。また、学習の全課程終了時に、修了テストを実施して理解度を判定した。結果は、ほとんどの受講生が講座を通してレベルが上がっていた。

また、終了時にアンケート調査を実施した。この結果によると全ての受講生が学習した日本語が役立っていると回答しており、当初の目標である日本の文化面の理解を通して日本語能力の習得に一定の成果があったと考えている。

(2) 学習者の習得状況

初回のレベルチェックテストと修了テストの結果を見ると、ほとんど全ての受講者の日本語能力が上がったと評価できる。

また、アンケート結果によると、教室に満足し、学習した日本語能力が役立っていると回答しており、引き続き日本語の学習意欲を持っている等の意見が見られた。しかし、生活者であるがゆえに帰国、転居、就職、病気などの理由で学習を中断せざるを得ない者もいた。

また、まとまった漢字の学習をとりいれたが、非漢字圏の受講者にとっては習得に苦慮する様子が見られたものの、時間をかければ理解できていた。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

この教室の目的は、学習者の自国の習慣と日本での習慣の違いを理解することを通じて日本語能力の向上を図り、地域社会の一員として安心して暮らせるようになることであった。学習者は、アンケート結果によると、学習内容の理解が得られ、引き続き学習意欲を継続しており、また、同じ教室で日本語を学ぶことを通して、学習者(母国が異なっても)どうしがコミュニケーションを取り合い、外国人市民相互の繋がりの輪が広がった。

生活者としての外国人は、まとまった学習時間の確保や継続的に日本語教室に通うことが困難な状況にあるため、日々の生活に直結した言葉を集中して学び習得することで、学習意欲の醸成を図ることができた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

当初計画していた第 1 回目の学習が台風のため中止になった。このため、課外学習として、多文化共生がテーマの「ベトナムまつり」「人権平和フェスタ」を見学し、日常生活によく使う生活会話を実際に使う学習の場とした。これにより、地域住民や学習者相互の交流を深めることができた。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

非漢字圏の学習者が漢字の読み書きに不安を抱えている。また一方では、文化・習慣を通して日本語を学び続けたいという要望もある。

このため、現在市内でボランティアが開設している日本語教室の情報を提供し、参加条件が合えば、継続学習が可能な状態とした。

② 今後の課題

日本社会の制度、習慣、しきたりなどを通して日本語を学ぶこの教室では、学習者の生活に密着した内容を学ぶため、学習意欲の継続には効果があった。一方で制度やしきたり等を広く紹介した講義内容としたために、各行事などの文化的背景や内容をもっと詳しく学習したいという希望もあった。

また、アンケートによると一部受講生からは、日本語能力検定や資格取得のための学習要望も寄せられた。

生活者としての外国人は、日々の生活に追われているため、一定期間にまとまった日本語学習時間の確保や継続的な学習が困難な状況ではあるが、市内地域で継続的に開設されている日本語教室の情報を提供し、学習意欲のある者が断続的にも学習持続可能な状態となるようする。

③ 今後の活動予定, 展望

学習意欲はあるが、一定期間にまとまった学習時間の確保や継続的な学習が困難な状況にある外国人市民が日本語を学習可能な状態とするため、市内各地域で開催している日本語教室と連携し、情報交換、運営相談などを通して、学習者の斡旋やボランティアの育成など、学習意欲のある者が学習可能となるように、日本語教室が継続的に開催されているという学習環境を整える。

具体的な学習目的を定めた日本語教室を開催する時には、学習者の要望をふまえた学習内容とし、だれもが参加しやすいようにできるだけ市中心地の公共施設を考えている。